

令和4年度 保健bシラバス（保健体育）

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	保健 b	単位数	1 単位	学年	2 年次
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版（株式会社 大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート 改訂版（株式会社 大修館書店）				

1 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

また、心と体を一体としてとらえ、健康・安全についての理解や健康の保持増進のための実践力の育成を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

2 指導の重点

(1) ライフステージにおける健康課題へ適切に対処できるよう、その重要性を理解し対処法が身につくようにする。

(2) 社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働が密接に関わっていることを理解し、それらに関わる健康活動や対策において、生活の中で実践できるようにする。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	生涯を通じる健康	現代高等保健体育ノート 改訂版	オリエンテーション 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択	思春期における心身の発達や健康課題について、特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解する。異性を尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解する。	4	授業の取組 出席状況 課題等の提出 考查成績
5			3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康	健康的な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解する。受精・妊娠・出産とそれに伴う健康課題を理解する。	4	
6			5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解する。加齢に伴う心身の変化について形態面及び機能面から理解する。	4	
7			第2回考查 7 高齢者のための社会的取り組み	高齢社会の到来に対応して、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解する。	2	
9			8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康	保健・医療制度の役割・しくみについて学び、保健・医療サービスの活用について理解する。医薬品の正しい使用方法について理解する。	4	
10			社会生活と健康	11 さまざまな保健活動や対策 12 大気汚染と健康 13 水質汚濁・土壌汚染と健康	国内外では健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていることについて理解する。 人間の生活や産業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などは人々の健康に影響を及ぼしたり、被害をもたらしたりすることを理解する。	

11	14 健康被害の防止と環境対策 15 環境衛生活動のしくみと働き 第4回考査	健康への影響や被害の防止には、汚染物質の抑制及び処理などが必要であることを理解する。 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動のしくみや働きについて理解する。	3
12	16 食品衛生活動のしくみと働き	食品の安全性や衛生管理について理解する。	3
1	17 食品と環境の保健と私たち 18 働くことと健康	食品の安全性の確保は食品の製造・加工・保存・流通の各段階での管理が重要であることを理解する。 労働と健康の相互影響について理解する。	3
2	19 労働災害と健康 20 健康的な職業生活 第5回考査	労働災害は作業形態や作業環境の変化に伴い、質や量が変化してきたことを理解する。健康的な職業生活は職場の健康管理や安全管理と共に、心身両面にわたる対策の推進により成立することを理解する。	4
3			

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> 現代高等保健体育ノート改訂版・授業ノート (各考査時) 課題プリントや授業時のワークシート (適宜) 課題レポート (必要時)

5 評価規準と評価方法

評価は次の3観点から行います。		
関心・意欲・態度 生涯の各段階における健康課題に対し、自ら適切に対応することや我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用について、関心をもち学習に意欲的に取り組もうとしている。 社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、それらの活動や対策に関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	思考・判断 生涯の各段階における健康課題の解決を目指し、習得した知識を活用し、総合的に考え、判断し、それらを実践している。 社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指し、習得した知識を活用し、総合的に考え、判断し、それらを実践している。	知識・理解 生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ適切な対応や我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用について基礎的な事項を理解している。 社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策について基礎的な事項を理解している。
以上の観点を踏まえ <ul style="list-style-type: none"> 出席状況及び授業の取組 (関心・意欲・態度) ワークシートや提出物の記述内容 (思考・判断) 各考査結果 (知識・理解) <p style="text-align: right;">などを評価します</p>		

6 担当者からの一言

<p>現在、国内の健康志向の高まりとともに連日マスメディア等で大きく取り上げられています。そのような状況において、私たちは正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択していくことが求められています。「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常の生活の中の課題を見つけ、解決方法を導き出すことができるよう授業を展開します。</p> <p style="text-align: right;">(担当：内藤 敦、八藤後 雅則)</p>
